

CHOCOLATEのプランナーが 青山ブックセンター本店の棚をプロデュース！ ～6月は富永敬による「右脳本と左脳本」～



コンテンツスタジオ CHOCOLATE Inc.（本社：東京都渋谷区、代表取締役：渡辺裕介、以下、CHOCOLATE）は、青山ブックセンター本店（所在地：東京都渋谷区）にて、6月3日より CHOCOLATEプランナーが毎月交代でひとつの本棚をプロデュースする企画「CHOCOLATE SELECT」において、CHOCOLATEプランナー・富永敬による「右脳本と左脳本」を開始したことをお知らせいたします。

「CHOCOLATE SELECT」とは

「CHOCOLATE SELECT」は、CHOCOLATEに所属するプランナーが、毎月交代で青山ブックセンター本店の本棚をプロデュースする特別企画です。

第一弾である4月は、大澤創太による「答えの出せない企画棚」をテーマに、「考える練習（保坂和志著）」と「考えない練習（小池龍之介著）」など、一見対照的に見える2冊の本を並べることで、“あえて正解を揺らがせてみる”「答えの出せない企画棚」を設置しました。

第二弾である5月は、島村ビギによる「歳を重ねる本棚」。「年齢」を軸に据えた本棚を用意し、「十歳のきみへー九十五歳のわたしから（日野原重明著）」や「41歳からの哲学（池田晶子著）」など、10歳から60歳までの各年齢をテーマにした本を設置しました。

「CHOCOLATE SELECT」6月：富永敬「右脳本と左脳本」概要

右脳左脳を、右往左往。最高の映画を観た後に、作り手の想いに触れたいくなりパンフレットを手に取るあの感覚。感動の裏には、論理がある。すべての感動は、“企て”によって作られている。左脳的な論理と、右脳的な感覚のジャンプによって出来上がる。この企画棚では、「企画に効く右脳本と左脳本」と称して、企画やコンテンツづくりに必要な「感覚（右脳的アプローチ）」と「論理（左脳的アプローチ）」を両面から楽しむ本を2冊セットでご用意させていただきました。ぜひ右脳本&左脳本をセットでお楽しみください。



■富永敬 プロフィール

1985年生まれ。広告のプランナーとして10年間、話題づくり、行列づくりに没頭。アクティベーションを中心に、CM、PR、デジタル、イベントと、多様な手法を武器に企画、実現する越境系プランナー。特定の分野にとらわれず、新しい体験を生み出すべくメディアアート、イラスト、xR領域と好奇心拡張中。
Twitter：<https://twitter.com/tomik0925>

青山ブックセンターについて



青山ブックセンターは、書籍、雑誌、文房具の販売の他、イベントや講座、ワークショップなども開かれる書店です。

URL：<http://www.aoyamabc.jp/>